

請 願 文 書 表

(令和5年2月20日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第27号 (5. 2. 13) 神戸市の中学校給食の改善を求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>神戸の中学校は、長年家庭弁当持参であったが、9万筆を超えた「中学校給食を求める署名」など、多くの子育て世帯の願いを受けて、市内全ての中学校で給食が実施されている。ところが、小学校給食と違い、民間工場から配送する方式で実施したため、冷たい・美味しくないと不評で、利用率は30%台にとどまっている。</p> <p>神戸市は、市長選挙直前の令和3年9月、「全員喫食制の温かい中学校給食の早期実施」を表明した。しかし、数カ所の大量調理施設から保温食缶で配送する「センター方式」が進められており、大規模工事に時間がかかり、スタートは早くても令和7年まで遅れることが見込まれている。</p> <p>一方、小学校の多くで実施されている「学校調理方式」は、給食を適温で提供でき、衛生管理がしやすく、アレルギーや地産地消に合わせた独自のメニューにも対応できる柔軟性を持っている。「センター方式」と比べても栄養教諭をたくさん配置ができ、学校ごとに食育を推進できる長所を持っている。</p> <p>温かい中学校給食の早期実現に当たっては、学校の調理室で、作り手の顔が見え、温かくて美味しく、栄養面と安全面が保証される学校調理や親子方式で実施すべきである。</p> <p>学校給食は、子どもの食のセーフティネットである。憲法では、義務教育は無償とされている。食育という教育の一環である学校給食を無償にすることを求める。</p> <p>よって、以下の事項について請願する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地元食材や有機農産物を使用する安全・安心な学校調理にすること 2. 調理室ができるまで、小学校から給食を配送すること（親子方式） 3. 学校給食を無償にすること
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市垂水区 神戸の中学校給食を実現する会 尻 池 直 美 ほか1名</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) 今井 まさこ あわはら 富夫</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>予算特別委員会</p>